

2024年5月10日

各位

会社名 株式会社ソラスト
代表者名 代表取締役社長 CEO 野田 亨
(コード番号 6197 東証プライム)
問合せ先 管理本部 広報・IR 部長 海野 あかね
(TEL. 03-6890-8904)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

この度、取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、その結果の概要を公表いたします。

1. 実効性評価の方法

取締役会の実効性に関する質問票をすべての取締役及び監査役に配付し、回答を得ました。この結果に基づいて、コーポレート・ガバナンス委員会（以下「CG委員会」）及び取締役会において取締役会の実効性に関する分析及び検証を行い、今後の課題等について建設的な議論を行いました。

(1) 対象者	全取締役及び監査役 合計 10 名
(2) 方法	Web アンケート調査（無記名式）
(3) 実施時期	2024 年 1 月
(4) 回答方法	5 段階評価+フリーコメント
(5) 評価項目（概要）	① 取締役会の構成 ② 取締役会の運営 ③ 取締役会の文化 ④ 取締役会による監督・ガバナンス ⑤ 経営戦略に関する議論等

2. 実効性評価の結果の概要

当社取締役会は、構成・運営状況等において、経営上重要な意思決定や業務執行の監督を行うための体制が構築されていることを確認しました。また、多様な経験や専門性をもつ社外役員を含めて活発な議論が行われていることを確認しました。

一方、取締役会の実効性の更なる向上に向けて、以下の意見が挙がりました。

- ・ 取締役会の事業リスクに対するモニタリングの実効性向上
- ・ 次世代経営者候補の継続的な育成

3. 評価の結果を踏まえた今後の対応

今回の評価結果を踏まえ、当社グループのあるべきコーポレート・ガバナンスについて CG 委員会及び取締役会において議論した結果、以下の取り組みを推進することを確認しました。

- ・ 取締役会における業務執行報告のより一層の充実（報告内容の標準化・深化）
- ・ 次世代経営者候補（部長層）の育成及び育成プロセスの監督強化
- ・ 執行役員選任プロセスの精緻化（詳細かつ幅広い候補者情報の共有）

これらの取り組みの推進等により、引き続き、取締役会の実効性向上、コーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。

4. 〈参考〉 前回評価結果に対する取り組み

前回評価（2023年1月）結果及びその後の議論では、「リスク管理体制強化」と「取締役会における長期的な課題に関する議論の深掘り」、「次期経営人材の育成」が重要課題であることが認識されました。

この評価結果を踏まえ、当社では以下の取り組みを行っています。

- ・ リスク・コンプライアンス委員会を四半期毎に開催し、発生事案の報告および改善策の実施状況を確認のうえ取締役会に報告する機会を拡充。加えて、発生事案の重要性に鑑み、リスク・コンプライアンス委員会主導で事案毎の社内横断ワーキングチームを組成し、発生原因の究明から再発防止策などを多様なメンバー間で議論する体制を構築。
- ・ 取締役会における中長期的な事業戦略に関する議論を経て、企業価値向上に向けた事業推進体制を再構築
- ・ 次期経営人材の育成および後継者としての適正評価を行うべく、社外取締役による執行役員インタビューを継続的に実施

以上